

担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(1年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	農業地域類型	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	北瑛	中間農業地域	令和4年度	令和6年度	美瑛町

(注) 農業地域類型欄には、地区の農業地域類型(都市的地域、平地農業地域、中間農業地域、山間農業地域)を記載すること。

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)
	1年度目 (令和4年度)	2年度目 (令和5年度)	3年度目 (目標年度:令和6年度)	
目標 必須	付加価値額の拡大	0	1	1
選択 目標	① 経営面積の拡大	0	1	1
	② 農産物の価値向上			
	③ 農業経営の複合化			
	④ 農業経営の法人化			
	⑤ 環境配慮の取組 (馬鈴薯への化学肥料の使用)	0		

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)	実績を確認した資料名等	
				1年度目 (令和4年度)	2年度目 (令和5年度)	3年度目 (目標年度:令和6年度)			
1		付加価値額の拡大(円)	116,576,249	116,576,249 96,219,141	134,062,688 0	134,062,688 0	-116.4%	決算報告書	
		算定 内訳	収入総額	300,380,961	300,380,961 313,863,357	345,438,106	345,438,106		
			費用総額	247,125,982	247,125,982 267,715,069	284,194,879	284,194,879		
			人件費	63,321,270	63,321,270 50,070,853	72,819,461	72,819,461		
		就業者一人当たり 付加価値額の拡大							
		就業者数							
		経営面積の拡大(ha)	246.70	246.70 247.60	271.50	271.50	3.6%	農地台帳	
		環境配慮の取組(t) (馬鈴薯への化学肥料の使用)	58	58 70	38	38	-60.0%	肥料購入実績	
補正の内容									

### Ⅲ 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

令和5年度に繰越事業を実施しているため、1年度目は成果目標を設定していない。  
成果目標の達成に向け、引き続き関係機関・団体と連携し、目標達成に向け助言・指導を行う。

### Ⅳ その他

#### 1 人・農地プランの作成状況

(1)作成した日 年 月 日

(2)今後の見通し(未作成の場合)

--

#### 2 法人化の状況

(1)法人化前の組織等の名称: \_\_\_\_\_

(2)法人化した日 年 月 日

(3)今後の見通し(法人化していない場合)

--

#### [記入要領]

1 「現状」「目標」欄は、担い手支援計画及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。

I 及び II の「達成状況」欄の上段は、担い手支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「〇年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 II の対象経営体の成果目標に関する達成状況は、担い手支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。また、付加価値額の拡大(算定内訳を含む。)及び就業者一人当たり付加価値額の拡大について、実績を補正したものについては、実績値の前に(補)と記載する。「項目」欄の「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記載する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

II の経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

3 III の「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。なお、担い手支援計画承認年度及び目標年度前年度の必須成果目標の達成状況がいずれも80%未満である助成対象者又は、目標年度における必須成果目標の達成状況が80%未満である助成対象者については、専門家等を活用した重点的な指導内容を記入すること。

また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は選択目標がおおむね達成されていない場合)は、別途、別紙様式5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

4 IV の1については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区である場合(実施要綱別記第1の2の(4)に該当する地区である場合)に記載し、2については、助成対象者が集落営農組織である場合(別記4の(1)のイの(ア)のcに該当する場合)に記入する。

担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(1年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	農業地域類型	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	水沢	中間農業地域	令和4年度	令和6年度	美瑛町

(注) 農業地域類型欄には、地区の農業地域類型(都市的地域、平地農業地域、中間農業地域、山間農業地域)を記載すること。

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)
	1年度目 (令和4年度)	2年度目 (令和5年度)	3年度目 (目標年度:令和6年度)	
目標 必須	付加価値額の拡大	0	1	1
選択 目標	① 経営面積の拡大	0	1	1
	② 農産物の価値向上			
	③ 農業経営の複合化			
	④ 農業経営の法人化			
	⑤ 輸出の取組			

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)	実績を確認した資料名等	
				1年度目 (令和4年度)	2年度目 (令和5年度)	3年度目 (目標年度:令和6年度)			
1		付加価値額の拡大(円)	59,568,603	59,568,603 50,353,646	66,121,150	66,121,250 0	-140.6%	決算報告書	
		算定 内訳	収入総額	132,611,574	132,611,574 123,955,597	147,198,848	147,198,948		
			費用総額	111,471,654	111,471,654 111,669,001	123,733,536	123,733,536		
			人件費	38,428,683	38,428,683 38,067,050	42,655,838	42,655,838		
		就業者一人当たり 付加価値額の拡大							
		就業者数							
		経営面積の拡大(ha)		95.20	95.18 109.50	106.40	106.40	127.6%	農地台帳
		農業経営の法人化							
補正の内容									

### Ⅲ 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

令和5年度に繰越事業を実施しているため、1年度目は成果目標を設定していない。  
成果目標の達成に向け、引き続き関係機関・団体と連携し、目標達成に向け助言・指導を行う。

### Ⅳ その他

#### 1 人・農地プランの作成状況

(1)作成した日 年 月 日

(2)今後の見通し(未作成の場合)

--

#### 2 法人化の状況

(1)法人化前の組織等の名称: \_\_\_\_\_

(2)法人化した日 年 月 日

(3)今後の見通し(法人化していない場合)

--

#### [記入要領]

1 「現状」「目標」欄は、担い手支援計画及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。

I 及びIIの「達成状況」欄の上段は、担い手支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「〇年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 IIの対象経営体の成果目標に関する達成状況は、担い手支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。また、付加価値額の拡大(算定内訳を含む。)及び就業者一人当たり付加価値額の拡大について、実績を補正したものについては、実績値の前に(補)と記載する。「項目」欄の「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記載する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

IIの経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

3 IIIの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。なお、担い手支援計画承認年度及び目標年度前年度の必須成果目標の達成状況がいずれも80%未満である助成対象者又は、目標年度における必須成果目標の達成状況が80%未満である助成対象者については、専門家等を活用した重点的な指導内容を記入すること。

また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は選択目標がおおむね達成されていない場合)は、別途、別紙様式5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

4 IVの1については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区である場合(実施要綱別記第1の2の(4)に該当する地区である場合)に記載し、2については、助成対象者が集落営農組織である場合(別記4の(1)のイの(ア)のcに該当する場合)に記入する。

担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(1年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	農業地域類型	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	美沢	中間農業地域	令和4年度	令和6年度	美瑛町

(注) 農業地域類型欄には、地区の農業地域類型(都市的地域、平地農業地域、中間農業地域、山間農業地域)を記載すること。

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)
	1年度目 (令和4年度)	2年度目 (令和5年度)	3年度目 (目標年度:令和6年度)	
目標 必須	付加価値額の拡大	0 1	1	1
選択 目標	① 経営面積の拡大	0 0	1	1
	② 農産物の価値向上			
	③ 農業経営の複合化			
	④ 農業経営の法人化			
	⑤ 輸出の取組			

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)	実績を確認した資料名等	
				1年度目 (令和4年度)	2年度目 (令和5年度)	3年度目 (目標年度:令和6年度)			
1		付加価値額の拡大(円)	57,985,886	57,985,886 81,364,758	75,381,652	75,381,652 0	134.3%	決算報告書	
		算定 内訳	収入総額	159,696,955	159,696,955 182,647,156	207,606,042	207,606,042		
			費用総額	134,765,145	134,765,145 135,119,599	175,194,689	175,194,689		
			人件費	33,054,076	33,054,076 33,837,201	42,970,299	42,970,299		
		就業者一人当たり 付加価値額の拡大							
		就業者数							
		経営面積の拡大(ha)	72.70	72.70 72.70	99.70	99.70	0.0%	農地台帳	
		農業経営の法人化							
補正の内容									

### Ⅲ 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

令和5年度に繰越事業を実施しているため、1年度目は成果目標を設定していない。  
成果目標の達成に向け、引き続き関係機関・団体と連携し、目標達成に向け助言・指導を行う。

### Ⅳ その他

#### 1 人・農地プランの作成状況

(1)作成した日 年 月 日

(2)今後の見通し(未作成の場合)

--

#### 2 法人化の状況

(1)法人化前の組織等の名称: \_\_\_\_\_

(2)法人化した日 年 月 日

(3)今後の見通し(法人化していない場合)

--

#### [記入要領]

1 「現状」「目標」欄は、担い手支援計画及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。

I 及び II の「達成状況」欄の上段は、担い手支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「〇年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 II の対象経営体の成果目標に関する達成状況は、担い手支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。また、付加価値額の拡大(算定内訳を含む。)及び就業者一人当たり付加価値額の拡大について、実績を補正したものについては、実績値の前に(補)と記載する。「項目」欄の「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記載する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

II の経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

3 III の「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。なお、担い手支援計画承認年度及び目標年度前年度の必須成果目標の達成状況がいずれも80%未満である助成対象者又は、目標年度における必須成果目標の達成状況が80%未満である助成対象者については、専門家等を活用した重点的な指導内容を記入すること。

また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は選択目標がおおむね達成されていない場合)は、別途、別紙様式5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

4 IV の1については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区である場合(実施要綱別記第1の2の(4)に該当する地区である場合)に記載し、2については、助成対象者が集落営農組織である場合(別記4の(1)のイの(ア)のcに該当する場合)に記入する。

担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(1年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	農業地域類型	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	朗根内	中間農業地域	令和4年度	令和6年度	美瑛町

(注) 農業地域類型欄には、地区の農業地域類型(都市的地域、平地農業地域、中間農業地域、山間農業地域)を記載すること。

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)
	1年度目 (令和4年度)	2年度目 (令和5年度)	3年度目 (目標年度:令和6年度)	
目標 必須	付加価値額の拡大	0 1	1	1
選択 目標	① 経営面積の拡大	0 0	1	1
	② 農産物の価値向上			
	③ 農業経営の複合化			
	④ 農業経営の法人化	0 0	0	1
	⑤ 輸出の取組			

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)	実績を確認した資料名等	
				1年度目 (令和4年度)	2年度目 (令和5年度)	3年度目 (目標年度:令和6年度)			
1		付加価値額の拡大(円)	17,753,938	17,753,938 27,857,967	24,855,515	24,855,515 0	142.2%	決算報告書	
		算定 内訳	収入総額	64,614,547	64,614,547 76,476,498	90,460,366	90,460,366		
			費用総額	47,028,109	47,028,109 49,069,531	65,839,351	65,839,351		
			人件費	167,500	167,500 451,000	234,500	234,500		
		就業者一人当たり 付加価値額の拡大							
		就業者数							
		経営面積の拡大(ha)	56.80	56.80 56.80	62.50	62.50	0.0%	農地台帳	
		農業経営の法人化	個人	個人 個人	個人	法人	0%		
補正の内容									

### Ⅲ 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

令和5年度に繰越事業を実施しているため、1年度目は成果目標を設定していない。  
成果目標の達成に向け、引き続き関係機関・団体と連携し、目標達成に向け助言・指導を行う。

### Ⅳ その他

#### 1 人・農地プランの作成状況

(1)作成した日 年 月 日

(2)今後の見通し(未作成の場合)

--

#### 2 法人化の状況

(1)法人化前の組織等の名称: \_\_\_\_\_

(2)法人化した日 年 月 日

(3)今後の見通し(法人化していない場合)

--

#### [記入要領]

1 「現状」「目標」欄は、担い手支援計画及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。

I 及び II の「達成状況」欄の上段は、担い手支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「〇年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 II の対象経営体の成果目標に関する達成状況は、担い手支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。また、付加価値額の拡大(算定内訳を含む。)及び就業者一人当たり付加価値額の拡大について、実績を補正したものについては、実績値の前に(補)と記載する。「項目」欄の「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記載する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

II の経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

3 III の「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。なお、担い手支援計画承認年度及び目標年度前年度の必須成果目標の達成状況がいずれも80%未満である助成対象者又は、目標年度における必須成果目標の達成状況が80%未満である助成対象者については、専門家等を活用した重点的な指導内容を記入すること。

また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は選択目標がおおむね達成されていない場合)は、別途、別紙様式5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

4 IV の1については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区である場合(実施要綱別記第1の2の(4)に該当する地区である場合)に記載し、2については、助成対象者が集落営農組織である場合(別記4の(1)のイの(ア)のcに該当する場合)に記入する。